



東洋精器は示イールバラ、ンサー「TRIM(トリム)」シリーズに、スタンダードモデルの「BP-67A」とその上位モデル「BP-7340P」まで、豊富なラインアップを用意。多様化する市場のユーチューズに幅広く対応する。今春、ユーチュアルとして商品ラインに加わったのが「トリム BP-75」だ。商品のポジショニングはスタンダードモードルとハイクラスモードルの中間、ミドルクラス。しかし、リム幅入力をソナーにより自動とする「自動計測ソナー搭載のタイヤカーデ」を標準搭載するなど、上位機種に匹敵する機能を備えた。新製品の解説と実演デモを担当してくれたのは執行役員商品企画部長の青木茂雄さん。4月1日付の人事異動で、これまでの販売企画部長兼横浜支店長から替わり新職に就く。

整備機器

新商品

東洋精器工業(株)

乗用車用ホイールバランス 「トリム BP-75」

クラスを超えた
先進機能を搭載

A black and white photograph showing a close-up of a vehicle's rear wheel assembly. The wheel is mounted on a hub, which has a circular cover or sensor attached to it. The spokes of the wheel are visible, radiating from the center hub.

ト」、「EEP」シリ
ーズのサブネームであ
る「BP」はBRAN
D PACKAGE
(ブランド パッケ)
ジに由来する。
青木さんは「ミドル
クラスのバランサー群
体は最高ランクの美
容」「バランス機能」
ヤガードはオーネスタ
ート＆トップ機能付
きでキー操作は不要。
ディスタンス／リム径
の自動入力も標準で装
備。「マッチング機能」
載を果した

載る果たした
ソナーを備えたタイヤガードはオートスタート&ストップ機能付きでキー操作は不要。
ディスタンス／リム径の自動入力ユニットを測定に付帯する操作は
ディスタンス／リム径の自動入力ユニットをリムに当てホイールガードを閉じるだけのアクション。ミドルクーピング機能
や「ビハインド機能」でこれ以上作業効率の高い機種は見当たらな

等レベルの機能を持つ。ホイール内面の下方6時の方 向でウエイ ト貼り付け位置を鮮やかな赤色レーザー光線で照射する「アルミ修正レーザーライン」を標準搭載した。ウエイ ト修正位置で自動点灯

ト車への装着方法は、ク リックロックハンドルをスピノンさせるタイ プ。一般的な乗用車力

テゴリ作業は多彩なア クセサリーが標準で付 属しているため追加購 入は不要で、さらに、さまざまなユースシー ョンに対応させるべく上

東洋精器は「TRIM-BP-75」の新発売に合わせ、スタートダッシュキャンペーントを展開中だ。「TRIM-BP-75」を注文すると、「TAYARIFTB-02B」とのセットで

リフトとのセット、
期間限定価格で提供

「に追求した」という。ジション停止」など、その代表が「リム幅自動計測ソナー」の採用だ。「BP-75」の主軸にホイール付きタイヤを取り付けてセットし、タイヤガードを閉じる、タイムラグゼロでリム幅の自動計測と同じ測定回転を開始する。上位機種で搭載されるハイスペックの機能だが、それをミドルクラスの機種で標準搭演出する。

測定後の修正作業に

ディスプレイには20インチのカラー液晶ディスプレイを搭載した。ピット作業での視認性が大きく向上。測定結果を表示するビデオを表示する。

青木さんは解説する。

い。作業に関わる一つひとつ動きを見直し、プログラム的に無駄なものはなく効率化できるものは機能面からも見直し短縮する。作業の一連の動きが簡潔でスマートに進み多機能でありながらとても扱いやすくなることを目指した」と、

搭載。十字型の赤色レーザーをホイールに照射することでリフトアップ時に難なくハブ穴のセンタリング位置を可視化でき、主軸とハブ穴の高さが合っているかの相互確認を不要とする。特許取得の一